

ボランティア入門講座

神奈川区ボランティアセンターでは、定期的にボランティア入門講座を開催しています。ボランティアに興味があるけれど、何から始めたらいいかわからない方、またしばらく活動されていない方など、ぜひご参加ください。

- 開催日時：令和6年1月17日（水）、3月13日（水）10:30～12:00
※例年奇数月第3水曜日開催 ※要事前予約
- 開催場所：はーと友神奈川 多目的研修室
※各日同じ内容です。
申込み、問合せは神奈川区ボランティアセンターまで



車いす体験も
やります！

ボランティア入門講座の様子。座学のあと、車いすに交換して館内外で実習を行います。

募集中のボランティア

<ガイドボランティア>

対象者（障がい・年代）
①男性（知的 20代）
②男性（知的 10代）
③男児（視覚 小学生）
④男児（来年度より就学）

内容
自宅から作業所までの付添い（朝）
自宅から横浜駅バス停までの付添い
自宅から学校まで登校時の付添い
自宅から学校まで登校時の付添い

地域
松ヶ丘
松ヶ丘
東神奈川
新子安

<ボランティア>

⑤学習支援ボランティア 隨時募集中！ 詳細はお問合せください

発行
問合せ

社会福祉法人横浜市神奈川区社会福祉協議会

〒220-0825 横浜市神奈川区反町1-8-4 はーと友神奈川1階

（代表）TEL: 045-311-2014 FAX: 045-313-2420

月～土曜日 9:00～17:00 ※日、祝日、年末年始除く



ホームページ



ボラセンメール



移動メール

<神奈川区ボランティアセンター> 月～土曜日 9:00～17:00

TEL: 045-322-2897 メール: volunteer@kanakushakyo.com

<神奈川区移動情報センター> 月～金曜日 9:00～17:00

TEL: 045-311-2678 メール: kanagawa-ido@yokohamashakyo.jp

神奈川区ボランティア情報誌

2023年12月発行

ボランティアだより

2023

ボランティアセンターと移動情報センターの合同情報誌

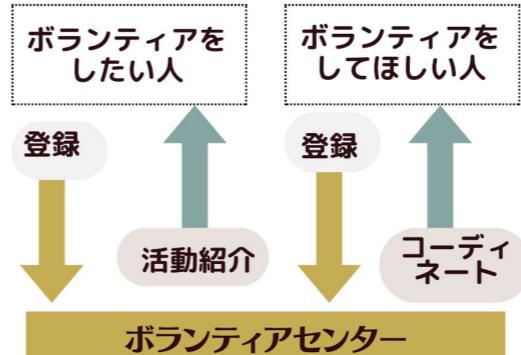
『神奈川区ボランティアセンター』と『神奈川区移動情報センター』の合同情報紙『ボランティアだより2023』をお届けします。今回は両センターの紹介と活動の様子、またボランティア募集などを掲載しています。

ボランティアセンターと移動情報センターについて

ボランティアセンターは

ボランティアをする方と、ボランティア活動をしたい人をつなぎたり、情報提供などを行っています。

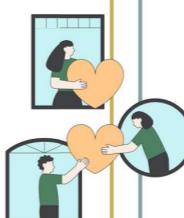
活動までの流れ



- ボランティア入門講座を定期開催しています。（詳細は裏面）
- 講師を招いてボランティア勉強会なども開催しています。

<相談の一例>

- ・草取り、簡単な剪定、ゴミの片づけ
- ・施設での音楽やマジックの披露
- ・施設のイベントの手伝い
- ・通院の付き添い
- ・麻雀、囲碁の相手 など



現在募集中のボランティアは裏面に掲載しています

相談者の同意のもと、両センターが情報共有して取り組んでいます。

移動情報センターは

障がい児・者の移動に関する相談やコーディネートや支援制度のご案内などを行っています。

ご相談の流れ

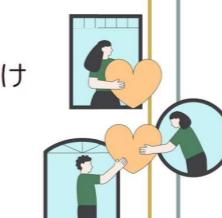
※ガイドボランティアの場合（要障害者手帳）



- 相談内容に応じて、ヘルパー事業所にガイドヘルパーの支援を依頼したり、他のサービスを探したりします。
- 障がい理解講座等によりガイドボランティアのスキルアップを行っています。

<相談の一例>

- ・自宅から支援学校バス停までの、登校時の支援。また帰宅する際の同行支援
- ・視覚障がい者の買い物や美容院などへの同行 など



～特別養護老人ホーム羽沢の家二番館 秋祭り～

11月3日 金曜日

ボランティアセンター取材記

「特別養護老人ホーム 羽沢の家二番館」の秋祭りを取材させていただきました。清々しい秋晴れの中、利用者様や地域の方々の明るい声や笑顔が飛び交う1日となりました。

ヒップホップダンスや太鼓の演奏などが披露され、楽しいひと時でした。

ボランティアセンターより20名のボランティアさんが活動して下さり、おでんや綿あめの販売、利用者さんの付き添いをしていただきました。販売では活気あふれる声ややり取り、付き添いでは静かで優しく寄り添っていらっしゃるお姿が印象的でした。

新型コロナウイルスにより、ボランティア活動やイベントの開催に制限ある日々が続きましたが、秋祭りをきっかけにいろいろな人との交流のすばらしさとつながりの大切さを実感しました。ありがとうございました。（ボランティアセンター職員：菅原）



ボランティアさんの声

羽沢の家二番館の秋祭りは、11月3日快晴のもと開催されました。この日を盛り上げたのは、学生、子ども達のダンス、歌謡ショーなど、出店ボランティアの人々でした。子ども達はコロナ禍での規制の日々で、観客の前の演技披露は緊張したことでしょう。終了後の笑顔が輝いていました。関係者の方々の努力と熱い思いで、日常生活が戻ってきたことを実感いたしました。（小笠原 ハナ）

施設長の声

利用者様、御家族様も久しぶりに一緒に屋外での楽しいひと時を過ごして頂くことが出来ました。地域の方も含め、総勢200名程度が参加され、大成功だったと感じています。3年ぶりの開催の為、職員も慣れない中での再開となりましたが、多くのボランティアさんにご協力頂き、感謝しております。ありがとうございました。（平本 剛士）

移動情報センター取材記



活動の様子をお伝えします。ガイドボランティアの方には3つのテーマでお話を伺いました。

通所

- Q1 活動を始めたきっかけ
- Q2 活動を始める前に不安だったこと
- Q3 活動中嬉しかったこと



バスで通所先まで2人のガイドボランティアさんが交代で支援しています。

- A1 ケアプラザからの紹介。
- A2 駆けだされると、付いていけるか不安だった。
- A3 歩くのが早く、「待って」と声をかけたら、手を差し伸べられ一緒に歩いた。名前を呼んでくれた。

ガイドボランティアさんより

バス停で挨拶してくれたり、私の髪留めに興味を持ってくれたりするようになりました。お母さまからは「心を開いたんだと思います」と言われ、胸がいっぱいになりました。



- A1 講座を受けたことがきっかけ。軽い気持ちで登録したら、依頼がきて驚いた。
- A2 前任の方に二度同行してもらったので、なんとなく理解した。
- A3 腕を組んでもらったこと。彼なりのコミュニケーションだと思う。

ガイドボランティアさんより
「障がい」というくくりでは見ない。「くん」ではなく「さん」だけで呼んでいます。
活動中の行動などは彼に任せている場面があります。



通学

ご自宅からバス停まで歩いて支援しています。

- A1 他の障がい児者と関わっている
- A2 相手が受け入れてくれるかが心配だった。しかし相手の個性がわかり、受け入れてくれた時は不安が解決されたと思った。
- A3 初日に相手からそっと手をつないでくれて嬉しかった。



ガイドボランティアさんより

どんな子どもも、すばらしい個性を持っています。そして子どもはこちらの気持ちを感じ取るということがわかりました。